

課題番号：処-102

課題名	廃炉プロセス「処理・処分・環境回復（燃料に由来するα核種が含まれる廃棄物含む）」 検討対象「キャラクターゼーション②」 課題「廃棄物戦略」		時間軸情報	汚染水対策				
	使用済燃料プールからの燃料取り出し							
燃料デブリ取り出し								
PCV/RPV/建屋の解体								
輸送・保管・貯蔵								
処理・処分・環境回復					2	1		
段階	Preparation							
ニーズ	望ましい状態とその理由		（参考）関連する研究課題					
1	性状把握結果を踏まえて下流（分別、輸送、保管、貯蔵、処理、処分）を合理化したい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●汚染水の水処理二次廃棄物は、これまでに処理実績の少ないものであり、処理・処分を見据えて、その性状や発生量、汚染核種の種類、化学形、量が把握されることが望ましい。</li> <li>●この際、湿分を含み屋外に通気状態で保管されている水処理二次廃棄物は、カビや苔等が繁殖し、分析や以降の固化処理が困難となる可能性にも留意が必要である。そのため、高線量下での微生物等による影響評価と必要に応じて対策技術も望まれる。</li> <li>●また、処理・処分側から、燃料デブリ取り出し側に要件や要求事項、留意事項が示されることが望まれる。</li> <li>●さらに、コスト低減の観点からは、処理実績があり（水処理二次廃棄物の性状把握が容易な／処理が容易な）、かつ安価な水処理技術が望まれる。</li> </ul>	<b>【実施されている研究課題】</b> 廃炉・汚染水対策事業「固体廃棄物の処理・処分に関する研究開発（研究開発成果の統合：廃棄物ストリーム）」 H28年度英知「汚染コンクリートの解体およびそこから生じる廃棄物の合理的処理・処分の検討」					
			<b>【検討されている研究課題】</b> 課題リスト「総合的リスク評価手法」 課題リスト「熱変質コンクリートの管理シナリオ」					
2	性状把握結果を踏まえて上流（取り出し、解体、等）を合理化したい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●性状把握結果を踏まえ、分別、輸送、保管、貯蔵、処理、処分を検討した上で、取り出しや解体の方法を合理化するフィードバックをかけられることが望まれる。</li> <li>●この際、個々の廃棄物の性状だけでなく、1F廃炉により発生する全ての廃棄物を勘案した全体的な合理化が望まれる。</li> </ul>	<b>【実施されている研究課題】</b> 特になし					
			<b>【検討されている研究課題】</b> 特になし					
関連する課題		汚染水-301「効率的・効果的な水処理」 SFP-301「がれき等撤去／SF取り出し」 デブリ-201「燃料デブリと放射性廃棄物の仕分け」 デブリ-301「PCV内燃料デブリ取り出し」 デブリ-302「RPV内燃料デブリ取り出し」 解体-301「炉内構造物の撤去」 解体-302「建屋の解体」 処-202「廃棄体化手法」 処-203「処分概念の構築」 処-301「クリアランスによる廃棄物量の低減」						